手動圧接工具

ＨＴ２０３／ＴＭ１１ＡＰ－８８Ｐ

取扱説明書

HRS ヒロセ電機株式会社
HIROSE ELECTRIC CO.,LTD.

はじめに

このたびは，モジュラープラグＴＭ１１Ｐ－８８Ｐ，ＴＭ１１ＡＰ－８８Ｐ用手動圧接工具ＨＴ２０３／ＴＭ１１ＡＰ－８８Ｐをご購入頂きまして誠にありがとうございます。

本工具は、あらかじめ端末処理，配線，クランプ加締め，グランド板折り曲げまでを完了したＴＭ１１Ｐ－８８Ｐ，ＴＭ１１ＡＰ－８８Ｐコネクタの圧接を行う工具です。

ご使用の前に必ず本書を良くお読み頂き十分理解の上、正しくお使い頂きますようお願い致します。

【注意】 本工具はモジュラープラグＴＭ１１Ｐ－８８Ｐ，ＴＭ１１ＡＰ－８８Ｐの圧接工具です。ハーネス作業には、他にクランプ加締め・グランド板折り曲げ工具ＨＴ２０４／ＴＭ１１ＡＰ－８８Ｐが必要です。
本工具の他、ＨＴ２０４／ＴＭ１１ＡＰ－８８Ｐと合わせて御使用願います。

ご注意

（１） 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固く御断りします。
（２） 本書の内容については，将来予告無しに変更する事があります。
（３） 本書の内容については，万全を期して作成いたしましたが，万一ご不審な点や誤り，記載漏れなどお気付きの点がありましたらご連絡下さい。
（４） 当社では、本製品の運用を理由とする損失，逸失利益等の請求につきましては（３）項に関わらず責任を負いかねますのでご了承下さい。
（５） 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、または、ヒロセ電機株式会社以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承下さい。
（６） 海外においては、本製品の保守・修理対応をしておりませんのでご承知下さい。

ヒロセ電機株式会社　１９９８

目次

第１章　仕様と構成　2

１－１　適合コネクタおよび適合ケーブル　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2
１－２　工具形状および各部名称　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2

第２章　作業手順　3

２－１　ケーブル端末処理～グランド板折り曲げ　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3
２－２　結線作業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3
２－３　品質基準　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　4
２－４　取扱い上の注意事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　4

第３章　保守と点検　5

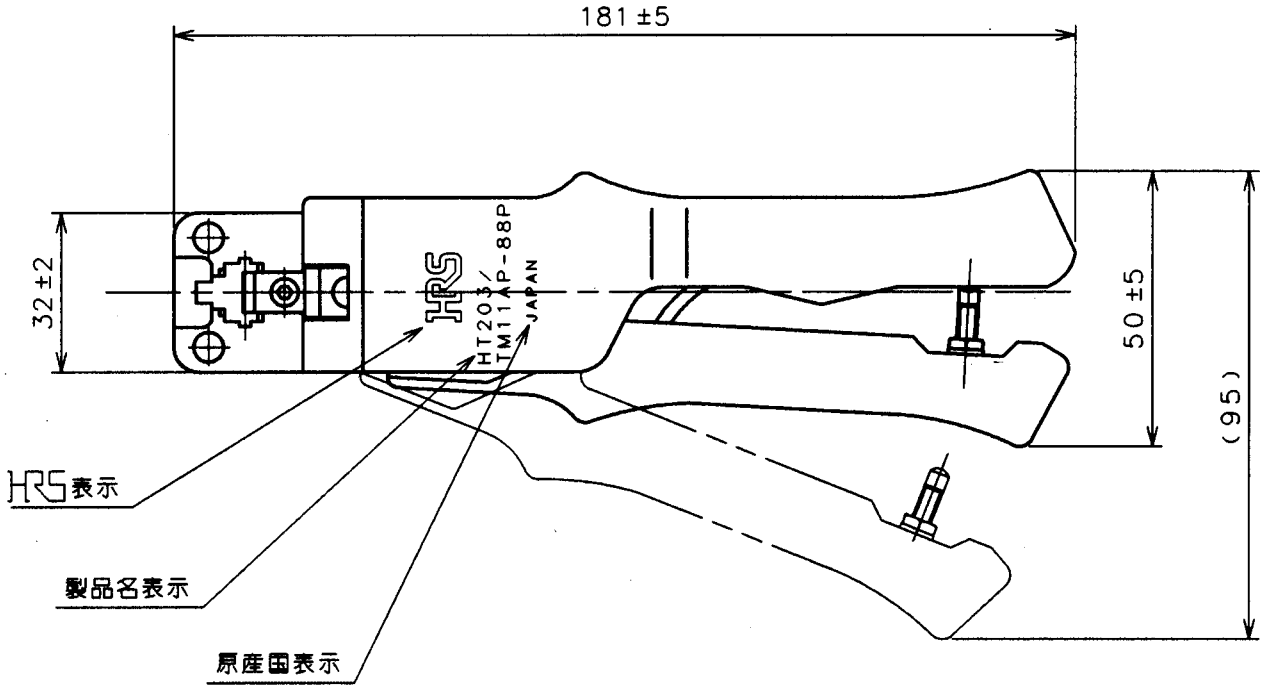
３－１　日常のお手入れについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5

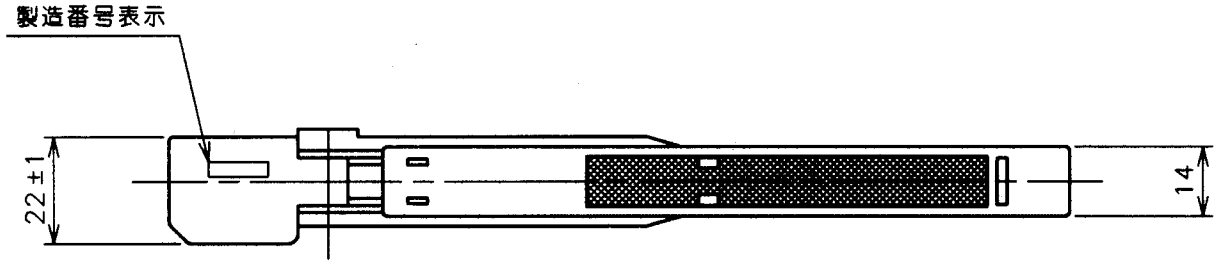
第１章　仕様と構成

１－１　適合コネクタおよび適合ケーブル

適合コネクタ	標準適合ケーブル
ＴＭ１１Ｐ－８８Ｐ（CL222-1328-2）	AWG#26 撚り線 ８芯ｼｰﾙﾄﾞ丸ｹｰﾌﾞﾙ 外径 φ5.2
ＴＭ１１ＡＰ－８８Ｐ（CL222-2780-6）	AWG#26 撚り線 ８芯ｼｰﾙﾄﾞ丸ｹｰﾌﾞﾙ 外径 φ5.2

１－２　工具形状および各部名称





第２章　作業手順

２－１　ケーブル端末処理～グランド板折り曲げ

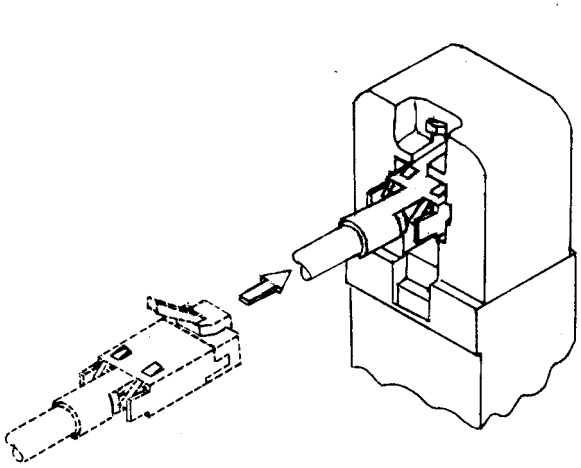
※ 前工程のケーブル端末処理～グランド板折り曲げに関しては，『ＨＴ２０４／ＴＭ１１ＡＰ－８８Ｐ取扱い説明書』をご覧下さい。

２－２　結線作業

① ＨＴ２０３／ＴＭ１１ＡＰ－８８Ｐのハンドルを一度閉じてラチェットを解除してから最大に開いてください。

② 工具の挿入口にコネクタが「パチン」と音がするまで挿入してください。
これでコネクタがホルダーにロックされます。　(Fig-1)

【注意】 挿入の際、コネクタの向きを間違えないように注意してください。



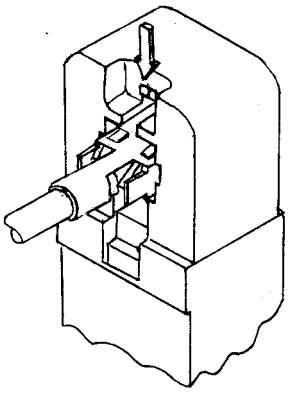
Ｆｉｇ－１

③ ラチェットが解除されるまでハンドルを握って、圧接を行います。

【注意】 コネクタを圧接する際は、コネクタがホルダーに対して、左右に偏るような負荷がかからないようにしてください。

④ コネクタのロックを押しながら，コネクタをホルダーから取り出してください。
(Fig-2)

【注意】 コネクタを取り出す際はケーブルに強い力がかからないように気をつけてください。



Ｆｉｇ－２

２－３　品質基準

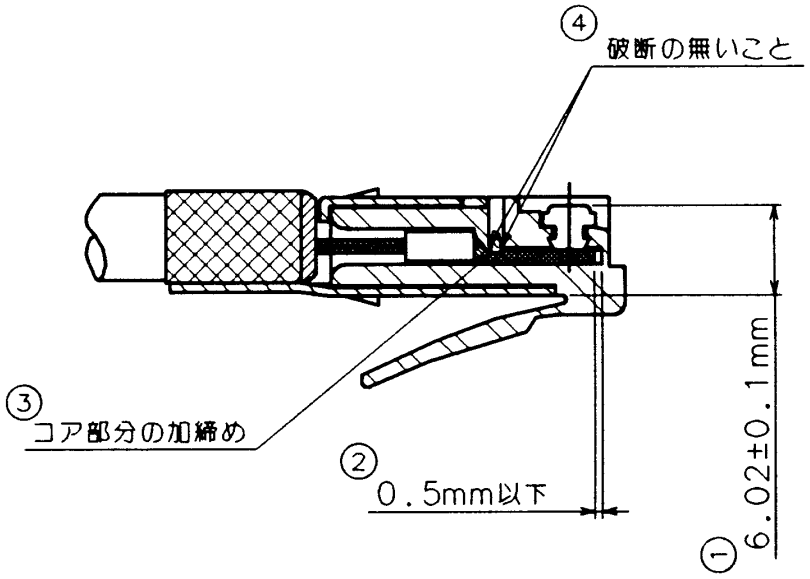
圧接後のコネクタが下記の規格を満足していることを確認してください。

①内部絶縁体の先端がプラグの壁に接触していること（クリアランスは最大で０．５㎜）

②圧接ハイトは、６．０２±０．１㎜のこと。

③矢印の部分で図の如くコア部分が加締められていること。

④矢印の部分でヒンジの破断が無いこと。



２－４　取扱い上の注意事項

① 工具を叩いたり，高い所から落とすなどの衝撃は絶対加えないでください。

②本書に示す適合コネクタ☼ 適合ケーブル以外のものを絶対に圧接しないでください。

③ラッチェットが解除する前にハンドルを開くことは出来ません。

④工具に不具合が発生したときは、解体などせずそのままの状態で不具合内容を明示の上、弊社にお申し付けください。

第３章　保守と点検

３－１　日常のお手入れについて

① 作業が終了した場合は、ホコリ，ゴミ，水分等を、柔らかい布等で清掃して下さい。

② ハンドル開閉の際、ハンドルがカジリ等無く滑らかに摺動することを確認してください。

【注意】　ホコリ，ゴミ等が治具に付着しますと，適正な圧接が出来なくなります。またそれらの異物がコネクタに付着する恐れがあります。

取扱説明書番号	
TAD-P3057	
発行年月	98 年　4 月
改定年月	年　月
版　数	初　版

ヒロセ電機株式会社
HIROSE ELECTRIC CO.,LTD

〒141　東京都　品川区　大崎　５丁目　５番　２３号
5-23,OSAKI 5-CHOME　SHINAGAWA-KU　TOKYO ,141　JAPAN

本製品に関するお問い合わせは下記までご連絡下さい。

生産技術部　　〒２２２　横浜市港北区菊名　７丁目３番１３号
TEL 045(402)7725　　FAX 045(402)7861